

令和4年度 第1回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時：令和4年7月28日（木）午前10時から正午まで

場所：日進市役所本庁舎4階 第1会議室

出席委員：津金美智子、伊藤龍仁、南千景、大津正仁、衣川友紀、関根聖美、早川真理、牛田由美子、熊谷豊（途中退席）、井上晴子

欠席委員：齋藤由美、早川里美

事務局：こども未来部 棚瀬部長
子育て支援課 村瀬主幹、荒川課長補佐、宮下主査
こども課 安彦課長補佐、伊藤係長
健康課 小川主幹

傍聴可否：可

傍聴有無：2名

<次第>

- 1 あいさつ
- 2 議題

- (1) 第二期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて
- (2) 第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

- 3 その他

<議事録要旨>

- 1 あいさつ

【委員長】（あいさつ）

【事務局】（あいさつ）

- 2 議題

- (1) 第二期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて

【事務局】（第二期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートにおける令和3年度実績及び分析評価について説明）

【委員長】基本目標1の各個別目標の事業について意見はありますか。

【委員】個別目標4「②病児病後児保育」事業の分析評価について利用者が減少していると記載されていますが、前年度と比較して利用者が増加しているため、分析評価の記載を改めていただきたいです。

【事務局】分析評価の記載を改めます。

【委員】個別目標2「③新：幼児教育アドバイザーの配置」事業について、評価と関係はありません

が、子ども発達支援センターや保健センターの保健師も保育所を巡回しており、幼児教育アドバイザーと情報共有や連携をどこまで行えばよいのか、関係機関との情報共有を図る場が必要なのか意見を頂きたいです。

【事務局】現場の状況はアドバイザーが情報共有を行っています。

【委員】幼児教育アドバイザーも発達に関するアドバイスをを行うのですか。また、情報共有は必要であると考えていますか。

【事務局】幼児教育アドバイザーによる発達に関する指導助言は状況に応じて行っております。必要に応じて関係機関との情報共有は必要であると考えています。

【委員】個別目標4「①ファミリー・サポート・センター」事業ですが、アウトプット指標データが援助会員率になっておりますが、パーセント表記になっていない意味を教えてください。また、指標データのかっこ書きに示す57という数字が分子と分母に同数加算されていますが、その意味を教えてください。

【事務局】パーセント表記に改めます。また、指標データのかっこ書きの数字については、分子である90が援助会員数、分母である288が依頼会員数となっております。分子と分母に対して同数である57を加算しておりますが、両方会員数が57人であるため同数を援助会員と依頼会員に加算しております。

【委員長】基本目標2の各個別目標の事業について意見はありますか。

【委員】個別目標1「①子育てサークル活動支援」事業の分析評価において、岩崎台・香久山福祉会館の利用について、令和2年度は353人であったが令和3年度は8人に減少した理由について、団体の判断以外に理由があるかを教えてください。また、個別目標2「①子育て支援センター相談業務」事業について、窓口以外の電話等の相談件数は含まれていますか。新型コロナウイルス感染症の中において子育てのしづらさを感じております。

【事務局】個別目標1「①子育てサークル活動支援」事業について、確認の結果、理由に関してフォローアップを行っていないため、サークルと直接話ができるような場を研究していきたいと考えています。また、個別目標2「①子育て支援センター相談業務」事業の相談内容は、電話と来所両方受け付けております。引き続き事業実施に努めてまいります。

【委員】個別目標2「②新：子育てアプリ」事業の保護者の利用率を教えてください。

【事務局】月1回以上利用した延べ数であれば約30人から40人を推移しています。また、子育てアプリの登録者が利用できるオープンチャット「子育てひよこひろば」において子育て情報を投稿したり、情報共有をしている保護者が約130ユーザーおり、一番利用が高いと感じております。保護者の情報共有としても非常に活用をいただいていると感じています。にしん子育て総合支援センターが指定管理として事業を行っており、市とセンターが情報共有を行いながら運営しています。

【委員】個別目標2「①子育て支援センター相談業務」事業の相談件数が減少しつつも、基本目標3、個別目標3「①子育て世代包括支援センター（ひよこテラス）基本型」の相談件数が令和2年度と比較して令和3年度が増加しており、どちらの事業もにしん子育て総合支援センターが担っていることから、新型コロナウイルス感染症に関する対応も両事業においてフォローできていると感じます。

【委員長】基本目標3の各個別目標の事業について意見はありますか。

【委員】個別目標2「③新：産後ケア事業」のアウトカム指標の式「3か月健診アンケート集計値（設

問内容：産後、助産師や保健師等から指導・ケアは十分に受けることができたか) はいと回答した人の数/アンケート有効回答数×100」となっていますが、パーセントが上がって分析評価も早期にフォローアップできている印象を受けて大変素晴らしいと感じていますが、「いいえ」と答えた人も約14%いるので、その声も大切にしていきたいと感じています。相談できない人が心配なので、その部分も分析して事業を実施していただきたいです。また、個別目標1「母子健康手帳交付」事業の名称変更が「親子健康手帳」に変更されているため、事業名を変更していただきたいと思います。

【事務局】健診実施時にも感じておりますが、「いいえ」と答えた方のいろいろな悩みについて課題を持っているため、必ず保護者にはアプローチを行い、フォローアップを行っていきたいと考えております。

【事務局】母子健康手帳交付事業の名称変更ですが、今期は本計画の中間見直しを行いますので、その見直しに合わせて事業の名称変更を検討します。

【委員長】基本目標4の各個別目標の事業について意見はありますか。

【委員】個別目標1「③子どもの意見や提案ができる場の提供」事業について、具体的なイメージがわからないのでどのようなことか教えてください。

【事務局】条例に基づき、市の施策に対する提案や子どもたちの意見を聴く等、子どもたち参加ができる事業を各課が実施しており、その実施した事業を子ども条例関連事業報告書にてまとめております。

【委員】児童及び生徒が直接的に施策を自分事として考えられることが大切だと感じており、市には様々な問題があるということを知って、次はどうなるのかという児童及び生徒の考えや意識の高まりが期待できる事業があると良いと感じます。

【委員】個別目標3「①児童館利用」事業に関連しますが、児童館のように子どもが直接使用する施設について、子どもたちが利用しやすくなるためにはどうすればよいか、子どもたちから直接意見を聞くことも児童館の来館者数を向上させるために必要であると感じます。また、児童館を利用していない児童について、利用していないという意見ととらえて、今後の児童館の利用向上の課題として捉えていただきたいと思います。

【事務局】今後の課題として担当課と情報共有をさせていただきます。

【委員】個別目標2「①補助教員の配置」事業のアウトカム指標「①学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合(%)」のアンケート結果が88.0%となっていますが12.0%の児童生徒が学校に行くのが楽しくないと思っているということと捉えることができると思いますので、その理由の分析をしていただきたいと思いますが、どのように分析されていますか。

【事務局】アンケート結果のみのため、本意見については担当課と情報共有をさせていただきます。

【委員】楽しいと思う裏返しとして楽しくないという評価は一概に言えず、児童生徒は様々な考えを持っています。何をもちて児童生徒が楽しいと感じるのかという定義や概念もないので、児童生徒一人一人の向き合い方にもつながる話になると考えますので、全体アンケートとしての意見として捉えつつも個別の意見を追っていく方法もあると思いますので、楽しいと思う裏返しの意味を考えていくことが大事であると感じます。

【委員】アンケート結果でいう「はい」ということを抽出するだけではなく、集計と分析によってどのように課題を読み取っていくかによって改善点が見えてくると考えますので、課題が分析できるアンケート内容にしていくことが大事であると感じます。

- 【委員長】基本目標5の各個別目標の事業について意見はありますか。
- 【委員】個別目標4「①専門的職員の配置」事業で、基本目標4、個別目標2「①補助教員の配置」事業のアウトカム指標「①学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合(%)」にも出てきたアンケートでは、不登校児童に対してもアンケートを取得していますか。
- 【事務局】確認をしておりますので、関係課に確認をします。
- 【委員】個別目標4「不登校児童等への支援」の「児童等」という意味合いについて、学校に来ていても教室に入れない児童生徒もいます。学校内でも教育支援センターのような仕組みや体制が必要だと感じるとともに、そういった子どもたちが社会に関わっているかがより大事に感じているので、そういった施策も今後必要になってくると感じています。
- 【委員】例えば日進市の子どもが100人だったとして、教育支援センターにも行けない子どもたちもいるのではないかと心配しています。小学校から中学校の全ての子どもたちに対して十分なケアがされているのでしょうか。
- 【委員】教育支援センターの位置も東にあり、西側の子どもたちには通いづらいかもしれません。ただ、教育支援センターに任せきりということではなく、各学校が連携をしております。また保護者の価値観も多様化していることから、それぞれの子どもの人生において、その時々ケアとして教育支援センターも含めて多様な支援を行っていると感じています。
- 【委員】不登校の児童生徒の洗い出しが大事で、基本目標4、個別目標2でもあった「学校評価アンケート」の全数の実施数と回答数、未回答数、回答された内容が示されている必要があると感じます。今後工夫の余地があると感じます。
- 【事務局】ご意見について関係課と情報共有をさせていただきます。
- 【委員長】基本目標6の各個別目標の事業について意見はありますか。また、全体的な評価でも構いません。
- 【委員】全体的な評価として、基本目標5、個別目標2「①新：居所不明児童への取組」に絡み基本目標5、個別目標1「①DV防止計画の推進」についてですが、事業としては後方支援なので、児童虐待が起こる前の支援も含めて、子どもの人権や権利について、子どもや大人が理解できて啓発できる一体とした事業があると良いと感じます。
- 【事務局】ご意見について関係課と情報共有をさせていただきます。
- 【委員】基本目標4、個別目標3「②新：子どもの文化芸術活動の支援」事業のアウトカム指標名と式「ヤングフェスタ出演者+こどもアート展出品者の合計」の中にもあります、こどもアート展についてですが、集団の中でも表現できない子どももおり、アートで表現し、様々な人から評価をもらうことで子どもの意欲が向上していると感じています。
- 【委員長】ほかにご意見がなければ第二期子ども・子育て支援事業計画に係る評価を終了します。

(2) 第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

(事務局より評価対象外事業の進捗管理表の説明及び今年度行う第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しに関する中間見直し資料の説明)

3 その他

(事務局より子ども条例関連事業報告書の説明)

【委員長】他に無ければ、以上で令和4年度第1回子ども施策推進委員会を終了します。

(閉会) 正午閉会